

明治生命と安田生命が合同で新社会人アンケート調査を実施！
2003年春 新社会人に聞きました
目指せ！サラリーマン「スペシャリスト」
出世よりも、好きな仕事で大成したい！

明治生命保険相互会社（社長 金子 亮太郎）と安田生命保険相互会社（社長 宮本 三喜彦）は、
「今春に新社会人になる方を対象としたアンケート調査」を合同で実施しました。

2003年春、新社会人として新しいスタートを切る新入社員たちが思い描く会社生活について、「ビジネススタイル」「社会人のイメージ」「将来見通し」の3方向から探ってみました。

◆ ノーベル賞「田中耕一」さんの影響!?

昇進よりも好きな仕事をとことん極めたい、「スペシャリスト」を志向

- 昇進したいポストの1位は、なんと「役職には興味がない」(28.2%)。
その理由は、「昇進よりも好きな仕事をしたい」「昇進よりもプライベートを大事にしたい」など、仕事であれプライベートであれ、自分の好きなことをとことんやりたい「熱中指向」。
- また、ゼネラリストよりも「スペシャリスト養成型」、年功序列よりも「完全実力主義」の人事制度を望む一方、転職・独立のしやすい年俸契約より「終身雇用制」の希望が圧倒的多数という、矛盾した結果に。
- 就職超氷河期を経験し、思い通りの会社に就職することの難しさを痛感？雇用という「安定した基盤」を確保しつつ、誰にも負けないスキルを磨き、サラリーマンでも「スペシャリスト」としての実力発揮を志向

(詳細は4～5頁参照)

◆ 理想の上司は「ビートたけし」さん・「黒木瞳」さん

- 理想の男性上司の1位は、2年連続「ビートたけし」さん(15.0%)。続いて「所ジョージ」さん(13.2%)、「原辰徳」さん・「明石家さんま」さん(12.5%)と接戦に。
- 「愛」でチームを優勝に導いた巨人軍「原辰徳」監督が、晴れてベスト3入り！
- 理想の女性上司の1位は、ダントツで「黒木瞳」さん(26.1%)。テレビドラマで演じる「上司役」が影響？
- 2位は親しみやすい「岡江久美子」さん(15.9%)、3位は知性的な「安藤優子」さん(13.1%)。

(詳細は8頁参照)

◆ 新入社員が予測！10年後は、日本経済・自分の生活レベルともに向上！

(詳細は9～11頁参照)

対象者の属性

1. 調査対象

今春就職を予定している男女

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2003年2月12日 ～ 2月28日

4. 調査方法

留置法

5. 有効回答者数

858人

6. 回答者の内訳

(1) アンケート記入者の性別

(人)

男性	女性
403	455

(2) アンケート記入者の年齢

平均年齢 22.9歳

(人)

18・19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳以上	無回答
29	31	59	520	134	76	9

目 次

【ビジネススタイル編】

1. 「昇進したいポスト」と「その理由」 . . . P 4
ノーベル賞受賞者「田中耕一さん」の影響！？
役職には興味なく、昇進よりも好きな仕事をとことんやりたい「熱中指向」
2. 新入社員が望む「人事制度」 . . . P 5
先行き不透明な時代、「終身雇用」の“安定”を求める新入社員
「完全実力主義」のもと、サラリーマン「スペシャリスト」になりたい！
3. 社会人にとって「必要な能力」と新入社員としての「自慢できる能力」 . . . P 6
社会人たるもの、「責任感」がもっとも必要！
今後、自分に必要なのは、「対人折衝力・交渉力」と「判断力・決断力」

【社会人のイメージ編】

4. 新入社員が抱く「社会人のイメージ」 . . . P 7
社会人のイメージは、定番の「スーツ」と「名刺」が約7割
「携帯電話」や「ノートパソコン」など、IT関連は低い
5. 「理想の上司像」 . . . P 8
理想の上司は「ビートたけし」さんと「黒木瞳」さん
「愛」でチームを優勝に導いた、巨人軍「原辰徳」監督がベスト3に！

【将来の見通し編】

6. 10年後の日本経済 . . . P 9
10年後の日本の経済は好転!?
現在より14.65ポイント上昇の「51.63」（100点満点）
7. 10年後の自分の生活レベル . . . P 10
楽観的？新入社員の未来は明るい！
10年後の自分の生活レベル・満足度は「73.37」と高得点（100点満点）
8. 10年後年収～理想と現実 . . . P 11
理想は高く掲げているものの、予想は極めて現実的 . . .
10年後の年収、理想は1000万円前後！でも、全体の7割弱が「750万円以下」と予測

1. 「昇進したいポスト」と「その理由」

ノーベル賞受賞者「田中耕一」さんの影響！？

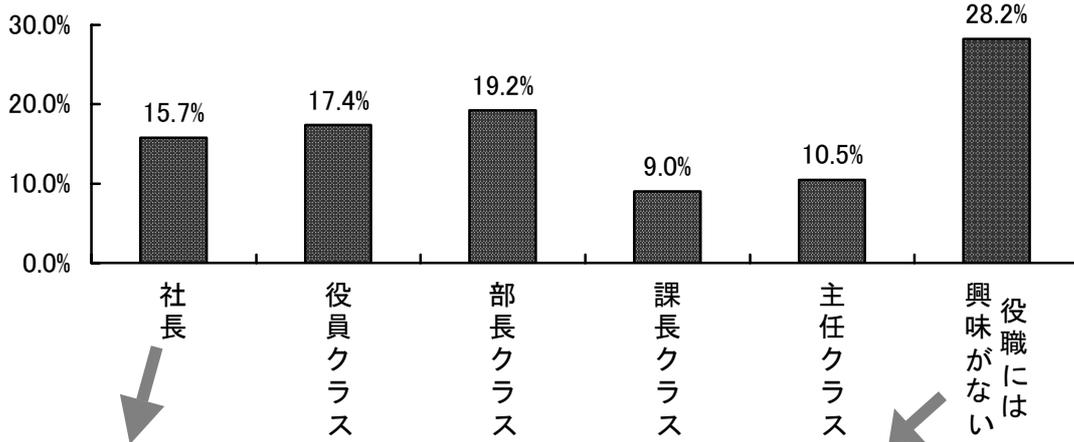
役職には興味なく、昇進よりも好きな仕事をとことんやりたい「熱中指向」

“就職超氷河期”をくぐり抜け、晴れて2003年春に、就職を予定している新社会人たち（以下、新入社員）は、これから始まる会社人生を、どのように思い描いているのでしょうか？「昇進したいポスト」と「その理由」について聞いてみました。

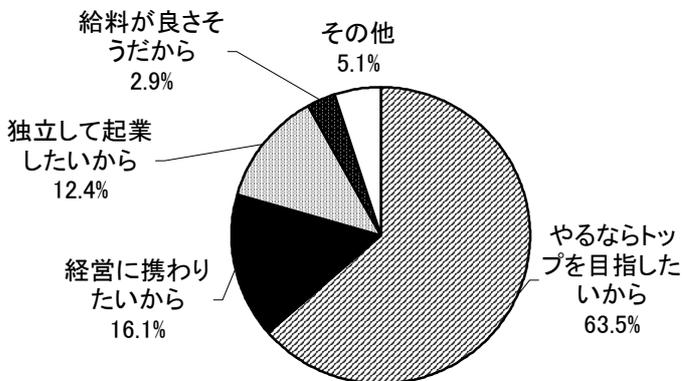
なんとトップは、「役職には興味がない」の28.2%。2位「部長クラス」（19.2%）以下に、10ポイント近い差をつけました。その理由は、1位「昇進よりも好きな仕事ができることを重視したいから」（43.4%）、2位「昇進はそこそこでよく、プライベートを大事にしたいから」（25.6%）と、仕事にせよ、プライベートにせよ、自分の好きなことをとことんやりたい、という「熱中指向」が見て取れます。

一方、「社長」と答えた新入社員も15.7%おり、役職にはこだわらない人たちがいる反面、「やるならトップを目指したいから」（63.5%）という理由で、虎視眈々とトップを狙う若者も存在しています。

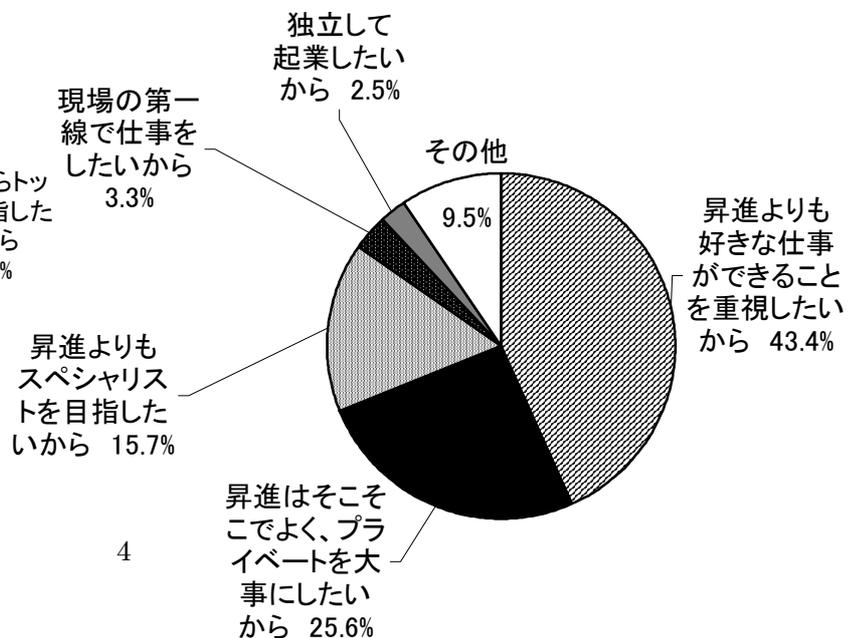
Q. 昇進したいポストは？



●「社長」を目指したい理由



●「役職には興味がない」理由



2. 新入社員が望む「人事制度」

先行き不透明な時代、「終身雇用」の“安定”を求める新入社員 「完全実力主義」のもと、サラリーマン「スペシャリスト」になりたい！

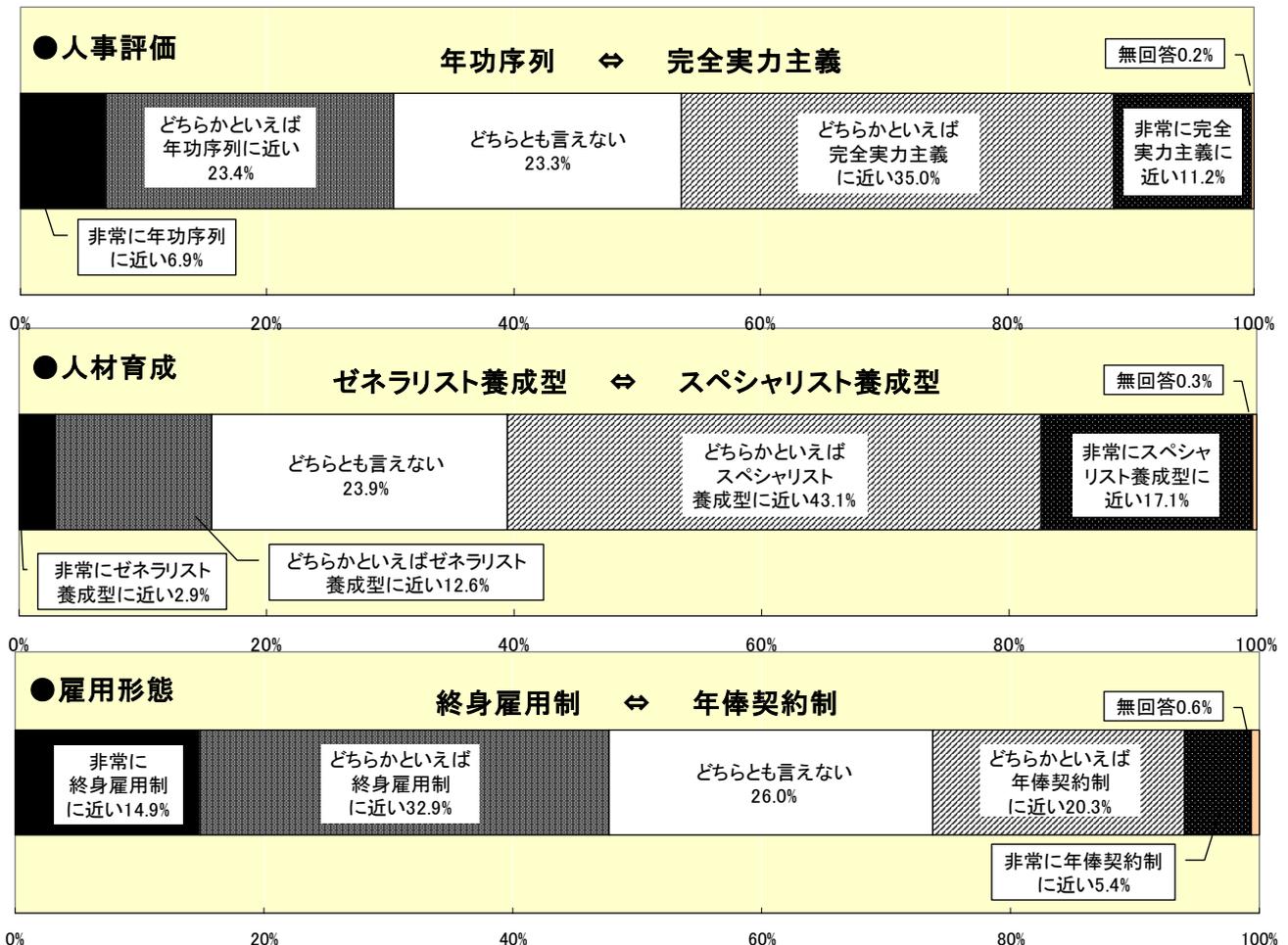
“昇進よりも好きな仕事をとことんやりたい”新入社員たち（4頁ご参照）。では、どのような「人事制度」を望んでいるのでしょうか？3つの観点から意見を聞いてみました。

まず、人事評価は、5割弱の人が「年功序列」よりも「完全実力主義」を望んでいます。次に、人材育成の面では、6割以上の人が「スペシャリスト養成型」を選び、「ゼネラリスト」になるよりは一定の分野の能力を身に付けたいと考えているようです。しかし、雇用形態では、5割弱の人が、独立や転職のしやすい「年俸契約制」よりも、長期に安定した「終身雇用制」を求めています。

これらを総合して考えると、長引く景気低迷・失業率の高止まりなど、先行き不透明な時代においては、まずは「終身雇用」という安定した基盤を確保してから、一定の分野で自分の能力を磨き、「スペシャリスト」としてとことん実力を発揮していくのが、今年の新入社員が理想とするビジネススタイルのようです。

また、一つの会社で「スペシャリスト」として働きたい、というのは、サラリーマンとして研究を続け、ノーベル賞を受賞した「田中耕一」さんの生き方を思わせます。

Q.あなたの望む「人事制度」は？



3. 社会人にとって「必要な能力」と新入社員として「自慢できる能力」

社会人たるもの、「責任感」がもっとも必要！ 今後、自分に必要なのは、「対人折衝力・交渉力」と「判断力・決断力」

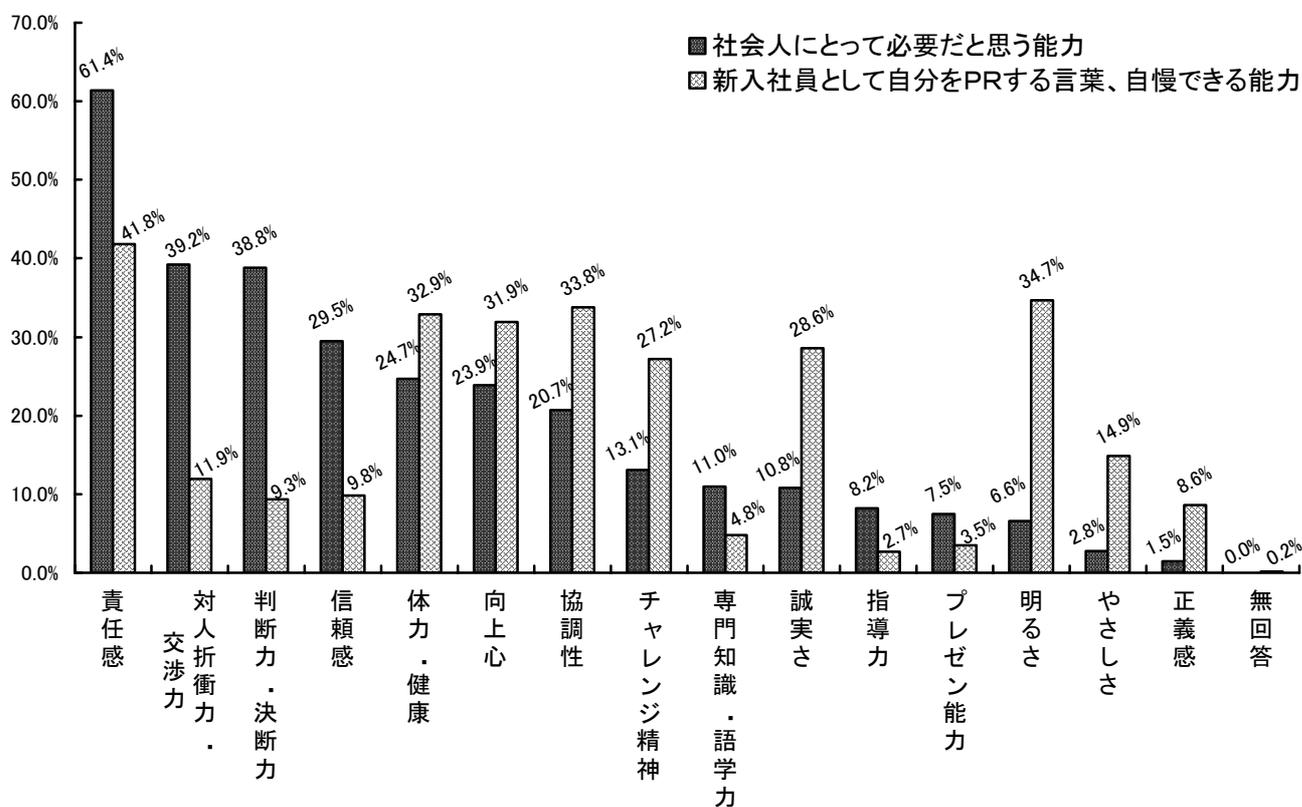
社会人として、今後、さまざまな能力を身に付けていかなければならない新入社員たち。そこで、「社会人にとって必要だと思う能力」と「今の自分がPR・自慢できる能力」について、聞いてみました。

必要な能力・自慢できる能力ともにトップにあがったのは「責任感」（必要な能力：61.4%、自慢できる能力：41.8%）。企業不祥事や政治家のスキャンダルなど、企業としても個人としても、その責任が問われるなか、社会人であるか否かにかかわらず「責任感」が何より必要であり、大切だと考えているようです。

「対人折衝力・交渉力」「判断力・決断力」については、必要な能力と自慢できる能力の間に30ポイント近い開きがありました。ビジネス社会で勝ち残っていくために必要な能力であり、今後、身に付けていかなければ、という自覚の表われでしょうか。

このほか、自慢できる能力では、「明るさ」（34.7%）や「体力・健康」（32.9%）が高いポイントをつけるなど、フレッシュな新入社員らしい結果となりました。

Q. 「社会人」にとって「必要な能力」は？また、新入社員として「自慢できる能力」は？ (複数回答)



4. 新入社員が抱く「社会人のイメージ」

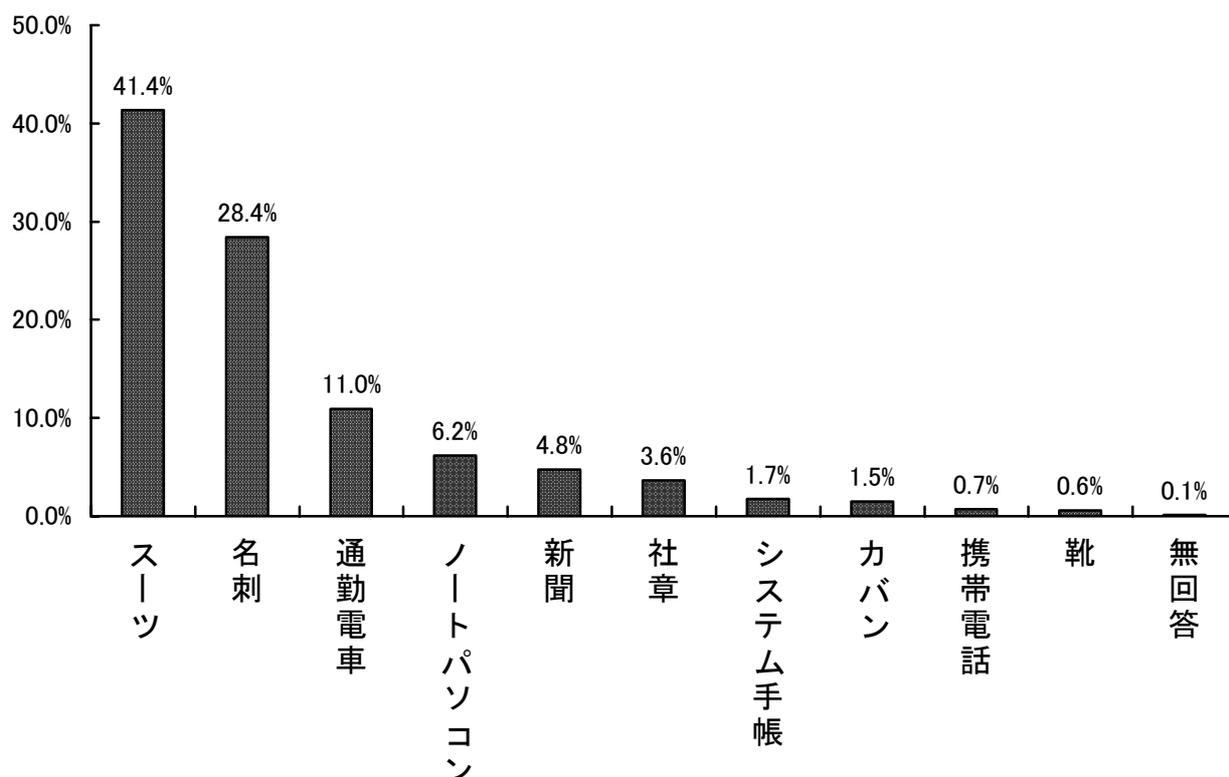
社会人のイメージは、定番の「スーツ」と「名刺」が約7割 「携帯電話」や「ノートパソコン」など、IT関連は低い

いよいよ社会人の仲間入りを果たす新入社員たちは、社会人にどのようなイメージを抱いているのでしょうか。「社会人のイメージ」にもっとも近いと思われるアイテムについて聞いてみました。

トップは、「スーツ」で41.4%とダントツ1位、次いで「名刺」が28.4%と、7割近くの人が、この2つを選択しており、今も昔も、社会人といえば「スーツ」「名刺」が定番のようです。

一方、「携帯電話」(0.7%)や「ノートパソコン」(6.2%)など、一時期“できるビジネスマン”の象徴でもあったIT関連のポイントは低い結果となりました。これらのアイテムには、IT関連機器の普及に伴い、あらゆる層にとって身近なモノになりつつあり、また、今の新入社員たちは、すでに学生時代から慣れ親しんできているので、特別、社会人を意識させるモノではないようです。

Q. 「社会人のイメージ」に最も近いと思われるアイテムは？



5. 「理想の上司像」

理想の上司は「ビートたけし」さんと「黒木瞳」さん 「愛」でチームを優勝に導いた、巨人軍「原辰徳監督」がベスト3に！

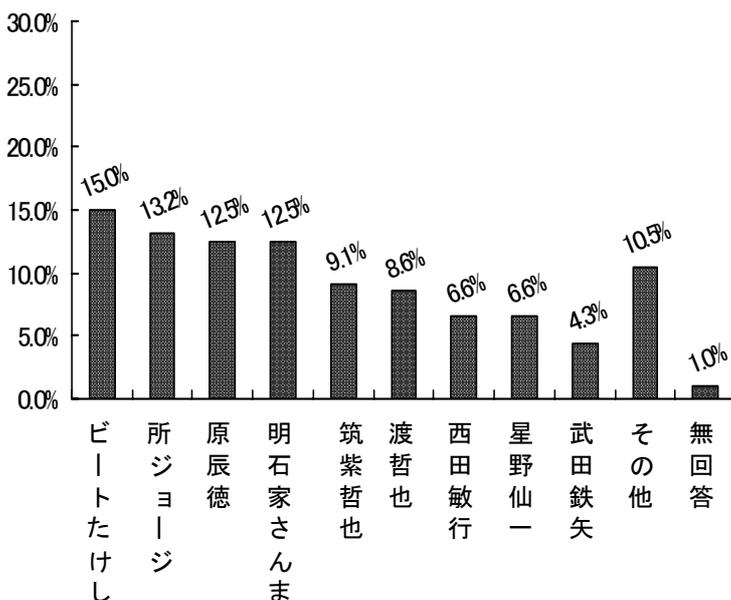
新入社員に、男性・女性一人ずつ「理想の上司像」を聞いてみました。

理想の男性上司像のトップは「ビートたけし」さん（15.0%）、理想の女性上司像のトップは「黒木瞳」さん（26.1%）となりました。「ビートたけし」さんは、昨年に引き続き、2年連続のトップ。映画監督、俳優など、幅広い分野で活躍する“懐の広さ”が評価された結果と考えられます。また、テレビドラマで素敵な上司役を演じた「黒木瞳」さんは、2位以下に10ポイント以上の差をつけて、ダントツの1位でした。今までの女性らしいやさしさに、“頼れる”イメージが加わったことが、高ポイントの理由でしょうか。

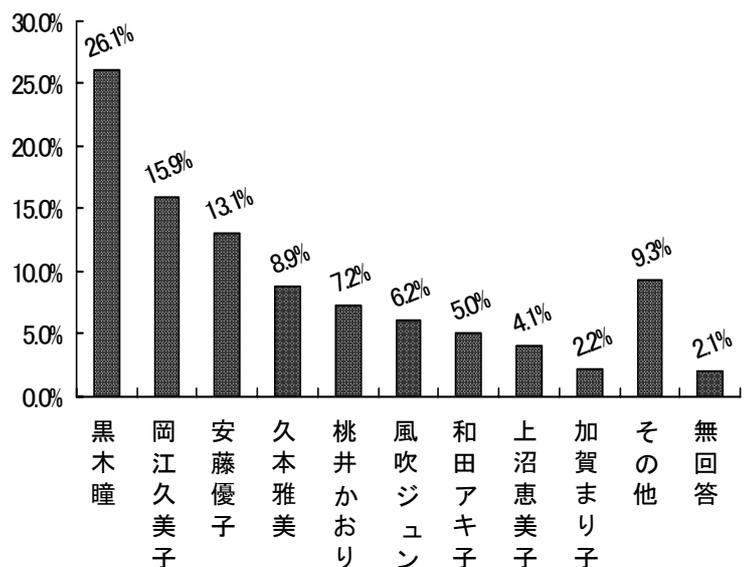
2位以下を見ると、男性上司像は、“明るく”“親しみやすい”イメージのなかで、「所ジョージ」さん（13.2%）、「原辰徳」さん（12.5%）・「明石家さんま」さん（12.5%）と、わずか0.7ポイント差の接戦となりました。なかでも、今年の注目は、巨人軍「原辰徳」監督です。“若く”“親しみやすい”イメージに加え、チームを優勝へ導くなど、しっかり結果を出したことが、ベスト3の仲間入りにつながったのではないのでしょうか。女性上司像には、2位に「岡江久美子」さん（15.9%）、3位に「安藤優子」さん（13.1%）がランクインし、“親しみのある”“知性的”なイメージが評価されているようです。

Q.理想とする「男性上司像」「女性上司像」は？

<男性上司像>



<女性上司像>



※「その他」の内訳については、別紙をご参照ください。

6. 10年後の日本経済

10年後の日本の経済は好転!?

現在より 14.65 ポイント上昇の「51.63」（100 点満点）

現在と比較して、「10年後の日本経済」がどのように変わっているのか、50を平均とした100点満点の“景気指数”で、将来を予測してもらいました。

まず、新入社員が考える現在の日本の景気指数は平均で「36.98」と50を大きく下回り、新入社員たちも現状は厳しいと認識しています。しかし、10年後は14.65ポイント上昇の「51.63」となりました。

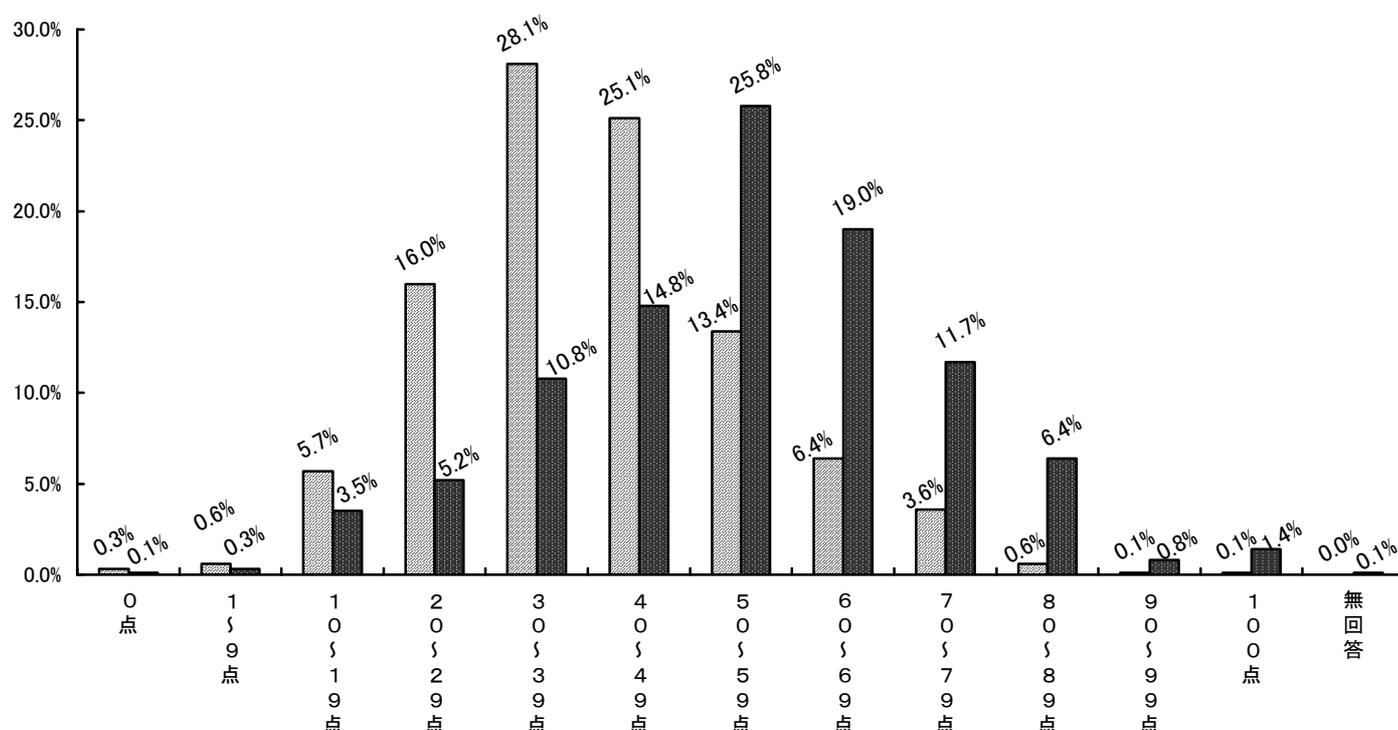
現在の景気指数としては、「30～39」点をつけた人がもっとも多く、全体の約3/4が50（平均）以下と見ているのに対し、10年後は「50～59」点をつけた人がもっとも多く、全体の約2/3が50（平均）を超えると見えています。

急激な回復はないけれど、今よりはきっと良くなっている…、新入社員たちが、働き盛りのビジネスマン・ビジネスウーマンとして活躍する頃には、景気も当然よくなるだろうというポジティブ思考に加え、今よりは良くなっていて欲しいという願望が込められているのかもしれません。

Q.10年後の日本経済は、今と比べてどうなっていると思いますか？

（50を平均とした100点満点の指数で回答）

■ 現在の日本社会の景気指数
■ 10年後の日本社会の景気指数



7. 10年後の自分の生活

楽観的？新入社員の未来は明るい！

10年後の自分の生活レベル・満足度は「73.37」と高得点（100点満点）

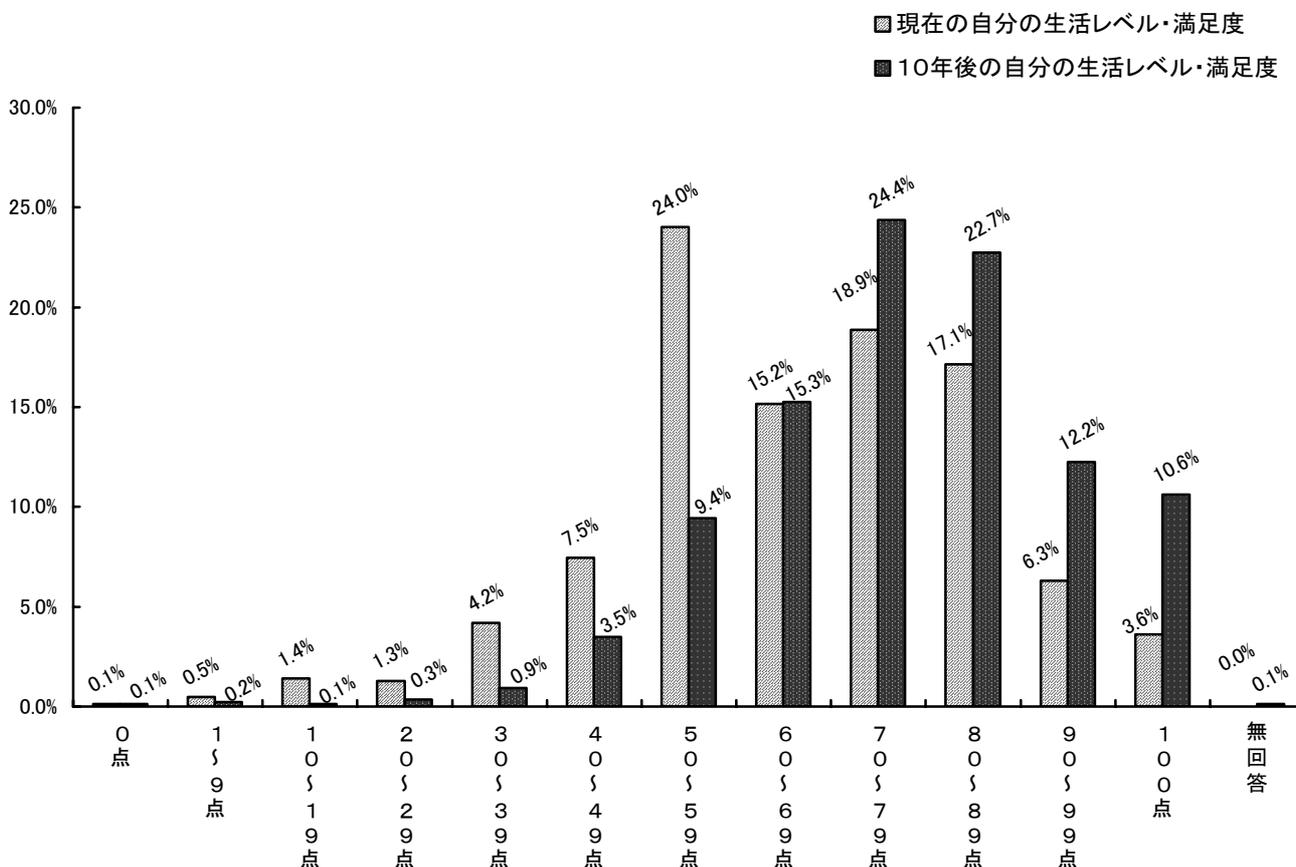
続いて、「10年後の自分の生活レベル・満足度」について、「10年後の日本の経済」（9頁ご参照）と同様に、50を平均とした100点満点の指数で聞いてみました。

現在の自分の生活レベル・満足度は平均で「62.43」と50を大きく上回っており、さらに10年後は10.94ポイント上昇の「73.37」となりました。まだ経済的に自立していない新入社員にとっては、現在の景気の停滞感・悲壮観といったものはまだまだ別次元で、実感のないものようです。また、景気の良かったバブルの時代の記憶もあまりないため、その当時と比較することなく、現状にも楽観的になれるのかもしれませんが、それでも、将来を悲観視せず、明るい将来予測とは頼もしい限りです。

なお、9頁の「10年後の日本経済」では平均で「51.63」と予測する一方で、10年後の個々人の生活レベル・満足度では、5割弱の人が「70～79」点、「80～89」点をつけており、平均が「73.37」の高得点となったことは注目に値します。

Q. 「10年後の自分の生活レベル・満足度」は、今と比べてどうなっていると思いますか？

（50を平均とした100点満点の指数で回答）



8. 10年後の年収～理想と現実～

理想は高く掲げているものの、予想は極めて現実的・・・

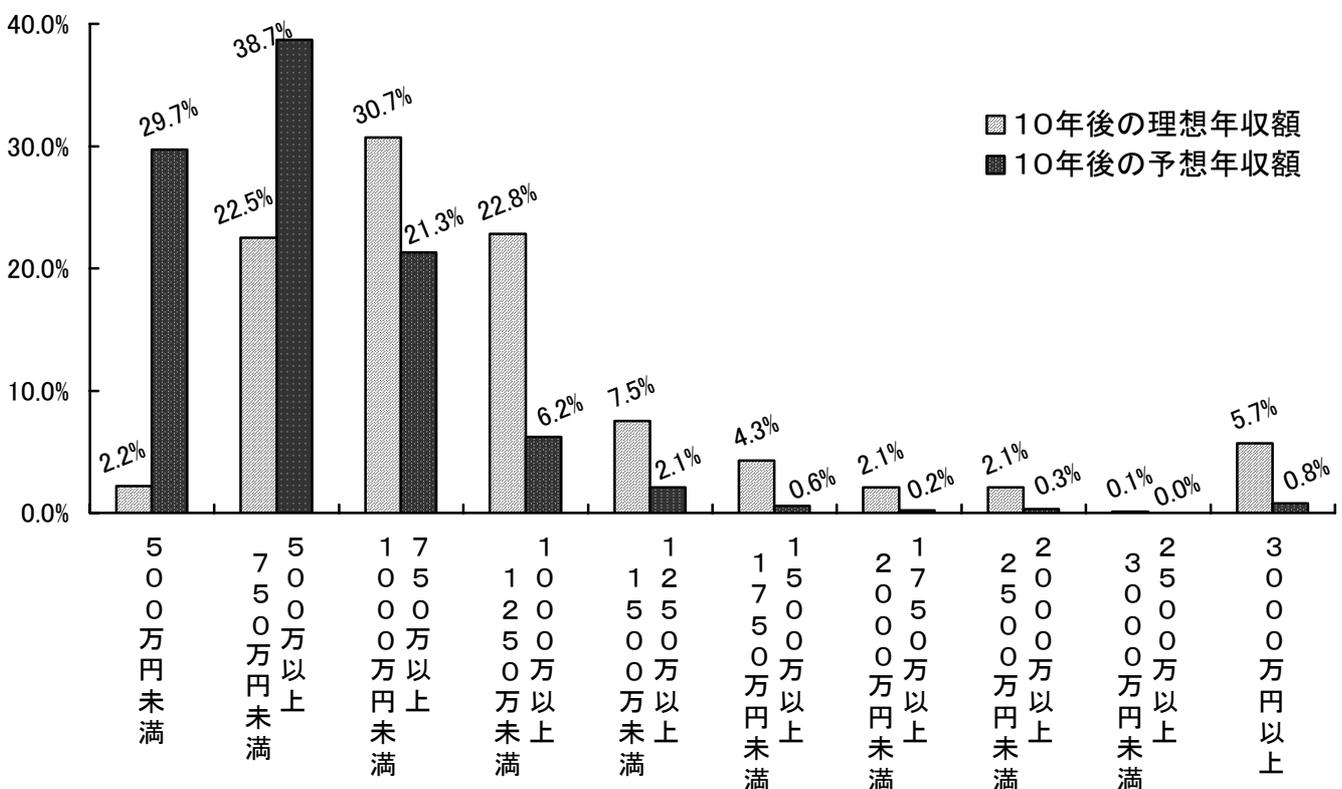
10年後の年収、理想は1000万円前後！でも、全体の7割弱が「750万円以下」と予想

最後に、「10年後の年収」について、理想額と予想額を聞いてみました。

理想額で最もポイントが高かったのが、「750万～1,000万」（30.7%）、次いで「1,000万～1,250万」（22.8%）と、1,000万円前後で過半数を占めました。希望はやはり1,000万の大台を意識していることがわかります。また、1,000万円以上の年収を理想とする回答も全体の38.9%にもものぼり、「理想は高く」ということでしょうか。

しかしながら、実際の予想年収額では「500万～750万円」（38.7%）と答える人が最も多く全体の4割弱。続いて「500万円以下」（29.7%）と、全体の7割弱が750万円以下の金額と答えています。1995年の新入社員アンケートでは、全体の約4割以上が10年後の年収を「1,000万円以上」とであると予測し、約6割弱が「800万以上」と答えていました。リストラ・賃金カットの話題を当たり前のようになり耳にする昨今、さすがに年収の予想額については、過度な期待もなく、極めて現実的といったところでしょうか。

Q. 「10年後の年収」について、理想額はいくら？ では、実際の予想額は？



「理想の上司」 (8頁ご参照)
「その他」の内訳

敬称略

理想の男性上司		理想の女性上司	
長塚京三	0.93%	小林 聡美	1.52%
伊原剛志	0.47%	山口 智子	0.58%
浜田 雅功	0.35%	室井 滋	0.58%
西村雅彦	0.35%	松嶋 菜々子	0.58%
長嶋茂雄	0.35%	財前 直見	0.58%
田中耕一	0.35%	江角 マキコ	0.58%
関根 勤	0.35%	深津 絵理	0.35%
小日向文世	0.35%	野際 陽子	0.35%
伊東 四郎	0.35%	柴田 理恵	0.35%
石原 慎太郎	0.35%	櫻井 よしこ	0.35%
渡部 篤郎	0.23%	吉永 小百合	0.23%
内藤 剛志	0.23%	仲間 由紀恵	0.23%
堤 真一	0.23%	浅野 温子	0.23%
竹中直人	0.23%	水野 真紀	0.12%
椎名桔平	0.23%	萬田 久子	0.12%
草野 仁	0.23%	松雪 泰子	0.12%
いかりや 長介	0.23%	松下 由樹	0.12%
リリー・フランキー	0.12%	原田 美枝子	0.12%
山本 太郎	0.12%	長谷川 理恵	0.12%
山崎 努	0.12%	はしの えみ	0.12%
役所 広司	0.12%	橋田 壽賀子	0.12%
松本 人志	0.12%	中島 知子	0.12%
松本 幸四郎	0.12%	戸田 恵子	0.12%
フランシス・コッポラ	0.12%	杉田 かおる	0.12%
フィリップ・トルシエ	0.12%	篠原 ともえ	0.12%
平井 堅	0.12%	酒井 法子	0.12%
野村 克也	0.12%	小畑 由香里	0.12%
中田 英寿	0.12%	小谷 真生子	0.12%
堂本 剛	0.12%	小島 奈津子	0.12%
ダンディ坂野	0.12%	小池 栄子	0.12%
タモリ	0.12%	黒柳 徹子	0.12%
高橋 克典	0.12%	京 唄子	0.12%
高田 純次	0.12%	梶 みえ子	0.12%
高倉 健	0.12%	上野 千鶴子	0.12%
角 淳一	0.12%	市原 悦子	0.12%
ジャッキー・チェン	0.12%	阿川 佐和子	0.12%
島田 紳助	0.12%	YOU	0.12%
ジーコ	0.12%		
サラリーマン金太郎	0.12%		
佐藤 浩市	0.12%		
坂本 龍馬	0.12%		
小林 薫	0.12%		
小出監督	0.12%		
ケイン コスギ	0.12%		
清原 和博	0.12%		
木村 剛	0.12%		
木村 拓哉	0.12%		
唐沢 寿明	0.12%		
勝俣 州和	0.12%		
片寄 明人	0.12%		
小澤 征悦	0.12%		
大塚 昌範	0.12%		
岩城 滉一	0.12%		
井筒監督	0.12%		
生瀬 勝久	0.12%		
石原裕次郎	0.12%		
阿部 寛	0.12%		

フリー回答をそのまま記載